

届 出 書

令和 年 月 日

足立 区長 殿

フリガナ
発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)
(郵便番号 ー)電話番号 ー ー
住所
(転居予定先) (郵便番号 ー)電話番号 ー ー
住所

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

- ①工事の名称
②工事の場所 足立区
③工事の種類及び規模
□建築物に係る解体工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 m2
□建築物に係る新築又は増築の工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 m2
□建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの
用途、階数、請負代金 万円
□建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 万円
④請負・自主施工の別: □請負 □自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

- フリガナ
①氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)
(郵便番号 ー)電話番号 ー ー
②住所
③許可番号(登録番号)
□建設業の場合
建設業許可 号 (工事業)
主任技術者(監理技術者)氏名
□解体工事業の場合
解体工事業登録 知事 号
技術管理者氏名

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日
(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

令和 年 月 日

4. 分別解体等の計画等

- 建築物に係る解体工事については別表1
建築物に係る新築工事等については別表2
建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
により記載すること。

5. 工程の概要

(工事着手予定日) 令和 年 月 日
(工事完了予定日) 令和 年 月 日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

- 1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
2 記名押印に代えて、署名することができる。
3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号

委任状

私は都合により _____ を代理者と定め、下記の建築物等の工事について、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条に基づく届出その他の手続きを委任します。

記

1. 工事の名称

2. 工事の場所

3. 代理者の会社名・連絡先

氏 名	_____	_____
会 社 名	_____	_____
住 所	_____	_____
所 属 部 署	_____	_____
役 職	_____	_____
連絡先（勤務先）	_____	_____
連絡先（携帯）	_____	_____
連絡先（E-mail）	_____	_____

令和 年 月 日

住 所 _____

フリガナ
氏 名 _____ 印（省略可）

平日昼間に連絡がとれる電話番号（ — — ）

【注意点】

- 1 委任状の偽造又は偽造した委任状の行使をしたときは、刑法第159条（私文書偽造等）又は同法第161条（偽造私文書等行使）の規定により罰せられます。
- 2 代理者は、複数定めることが可能です。必ず1名は、実際に届出窓口に来られる方、オンライン申請の入力業務を行う方を指定してください。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()			
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他()			
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☐ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材			
工作物に 関する調 査の結果	工作物の状況	築年数_____年 その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約_____m その他()			
工作物に 関する調 査の結果 及び工事 着手前に 実施する 措置の内 容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他()		
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☐ 無 前面道路の幅員 約_____m 通学路 ☐ 有 ☐ 無 その他()		
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有 () ☐ 無		
	他法令関係 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿 (大気汚染防止 法・安全衛生法 石綿則)	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(吹付け石綿、石綿含有断熱材等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有ビニール床タイル、 スレートボード等) 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☐ 無	☐ 飛散性石綿に関する諸官庁届出(大防法、労 安衛法・石綿予防規則 等) ☐ 飛散性石綿の適正処理の実施 ☐ 非飛散性石綿の適正処理の実施	
	その他				
工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工程		作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設		仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	②土工		土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎		基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造		本体構造の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 ()		その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン			
廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事)並びに特定建設資材が使用される工 作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び 特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工 作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込ま れる部分(注)
			☐ コンクリート塊		トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ アスファルト・コンクリート塊		トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ 建設発生木材		トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
					トン
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他					
備考					

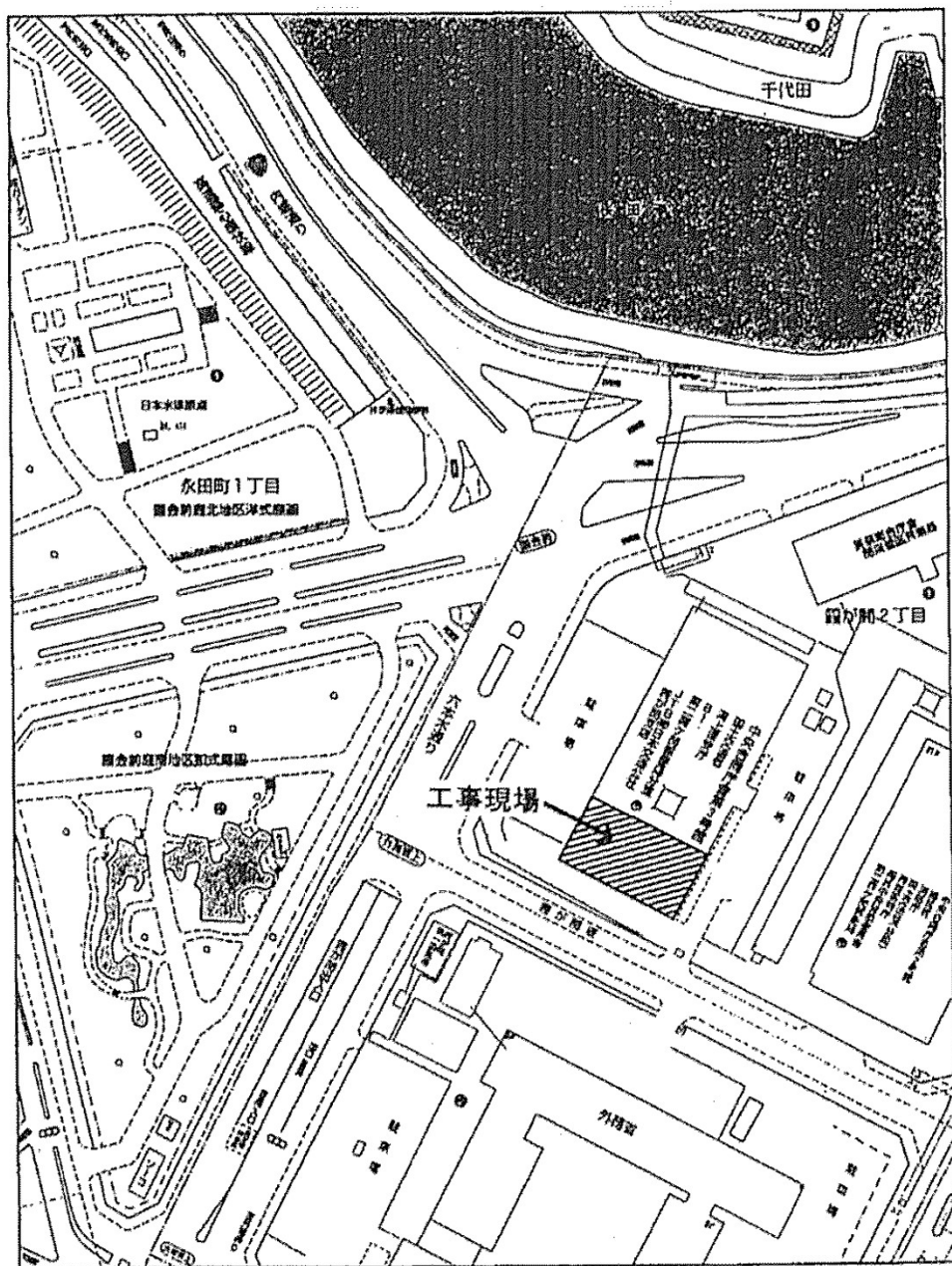
□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

(参考様式)

案 内 図

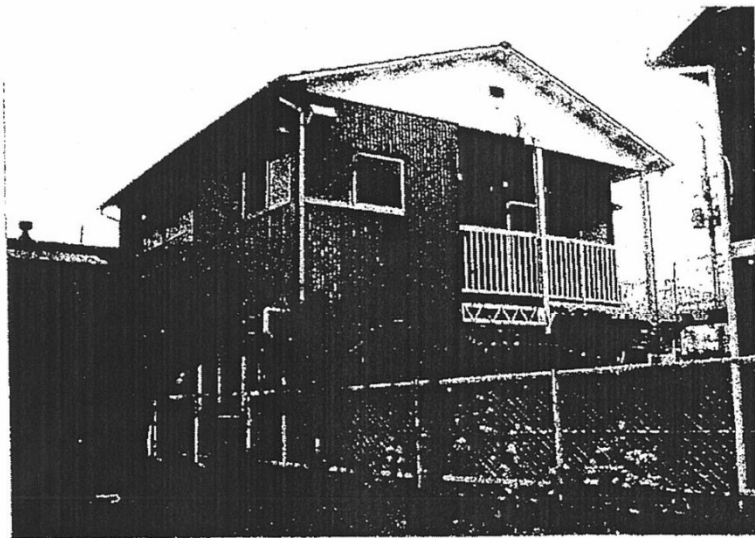
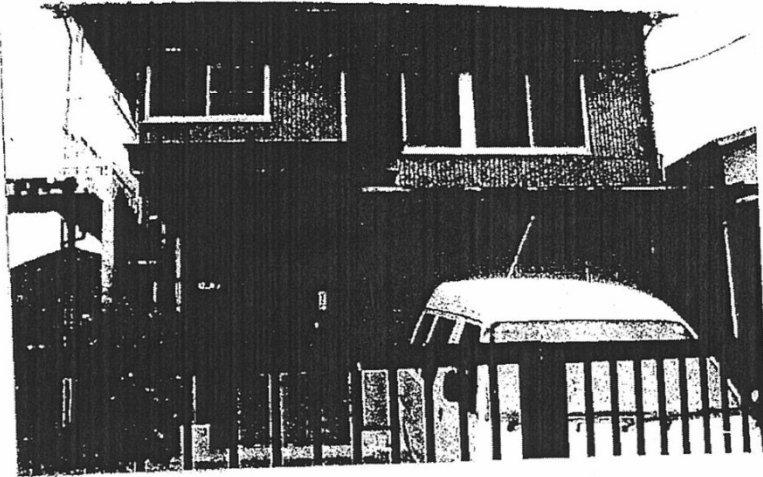
作成例

現 場 位 置 図



設計図又は写真

作成例



(解体工程)

工事件名

工 程 表																								
解体種別 / 月 日																								備 考
①設備・内装・建具等																								
②屋根ふき材																								
③外装材																								
④上部構造																								
⑤下部構造																								
⑥基 礎																								
⑦外 構																								
⑧その他 ()																								

※作業内容、構造上、技術上この表により難しいものはそれらによる。またA 4 ヨコであれば別の様式の工程表によることができる。